



自芯

1学期終業式号

令和元年7月19日

勝負の夏っていったい何？

「3年生の夏が勝負」

ずっと昔から使われている言葉です。使い古された言葉といってもよいかもしれません。そのために、あまりその中身を考えずに、なんとなく雰囲気ですべて使っている感じがします。でも、たしかに3年生の夏は勝負です。

それでは、何が勝負なのでしょう。3年生は、夏に何と勝負しなければならないのでしょうか。みなさんは、何に勝たなければならないのでしょうか。

夏休みは、自分の進路を考え、そして進路を決めるために前進する時期です。つまり、みなさんは、この後の進路決定につながる何かに勝たなければならないのです。

その何かの一つは、自分で自分の時間を使えるかどうかです。自分で自分の時間をマネジメントできるようになることです。

夏休みの時間は平等です。そして、夏休みの時間の使い方は、基本的にみなさんにまかされています。その時間をどのように使うかという勝負に勝つ必要があるのです。

もちろん、決まった時間にコツコツ勉強する計画的な時間の使い方や、集中して効率的に時間を使うことができればよいでしょう。しかし、時間の使い方のうまさは、勉強する時間を確保することだけではありません。与えられた時間の中で、休憩や趣味の時間をどのように配置し、そのリフレッシュした時間をどのように学習時間につなげるようにできるかを考えることも大切です。

自分に与えられた時間を総合的にデザインする。
さあ、自分の夏休みをプロデュースしましょう。

勝負の夏は、時間の使い方との勝負です。
納得の時間の使い方を考えてみてください。

オープンハイスクールのご確認を！

高校との出会いの場、それがオープンハイスクールや学校説明会です。クラスの約3分の2をこえる人が、この夏休みにどこかのオープンスクールや学校説明会に参加します。もちろん、既に参加してきた人もいます。

たくさんの方が、参加することをとてもうれしく思います。学校の雰囲気、場所、そこで生活する生徒の様子を見ることは貴重な機会になるでしょう。

昨日の学年集会で参加する時の注意などがありました。

高校にとっては、自分たちの学校を知ってもらうPRの機会です。したがって、皆さんをお客さんのように大切にもてなしてくれるでしょう。

しかし、皆さんはそれに甘えてはいけません。ゆくゆくは、皆さんが自分を知ってもらう、高校に自分をPRする立場になるのです。これまでに見たり、聞いたりした「？」なケースを紹介しますので、反面教師にしてくださいね。

【?ケース①】 高校や中学校に欠席や遅刻の連絡をしない。

突然の体調不良などでやむなく欠席のこともあります。大人の世界では招待されたお客さんであっても、準備をしてくれている先方に対して連絡を入れるのがマナーです。同じことです。

【?ケース②】 だらしない服装で出席する。

ゆくゆくは自分が高校にPRする立場になります。その姿で何をPRしたいのか。??です。

【?ケース③】 腕を組んだり、足を組んだりして話を聞く。

え？そんなところまで見られてるのかと思うかもしれませんが。見えています。というか、見られてる、見られていないに関わらず人の話を聞くときのマナーとしてダメです。横柄な印象を与えてしまいます。

【?ケース④】 話に夢中になり、人が前に立っても話をやめない。

体育館等で待機する時間が長くなる場合があります。その時間に話をすることは悪いことではありません。しかし、つつい話に夢中になり、人が前に立ってもやめない、気づかないことがあります。何しに来たのと思ってしまう。高校での待機は、USJの待ち時間ではありません。

2学期当初の予定とお知らせ

28日(水) ①始業式 ②③学活

29日(木) ①国語実テ ②数学実テ ③社会実テ

30日(金) ①理科実テ ②英語テ ③体育大会の取組み(予定)

3日間とも、給食はありません。11:30以降に順次下校します。